

## 講演

## 日本の水道事業の経験を生かした国際貢献

山村 尊房

Sonbo Yamamura

W &amp; E 研究所 代表



はじめに、日本の水道発展の要因を、「衛生面の重視と人材の育成」、「普及整備」、「技術革新」及び「多様性」の観点から整理し、日本の水道の強みは、「高い技術」や「水道施設の総合的な維持管理と事業運営のノウハウ」といった現在の水道が示す側面に留まらず、発展の中で構築された「適時適切な対応力」と「技術の多様性」を含めた総合的なポテンシャルにあることを示す。発展の結果生じた課題にも着目し、重視すべき技術・政策要素と留意点について説明した。

第二に、水道普及の結果利用者側の意識変化によって生じた課題の一つとして、「飲料水の水道離れ」ともみられる小学校への「水筒持参」現象を取り上げ、利用者側に見られる「蛇口で飲める水道水」からの意識変化と心理的要因について、オンラインアンケート調査結果によって地域ごとの特徴を考察、発展途上国の水道への応用の可能性をお話いただいた。

第三に、発展途上国の水道普及整備促進にあたって、ODAによる援助でのみでは解決が困難な課題について、ビジネスの原則を活用して持続可能な形で取り組む方法を示していただきました。

これらを踏まえて、発展途上国に向けた水道分野の国際貢献において、日本の水道事業の発展過程の中から得られた多様な経験を踏まえて、特徴と強みを生かした政策形成を図るべきこと、また、発展途上の国々での水道整備にあたって、我が国の水道の発展過程から得られた経験（教訓を含め）を活用することが、より効果的な事業遂行に役立つことをご提示いただきました。



## プロフィール

1974年3月	京都大学工学部衛生工学科卒業
1976年3月	東京大学大学院工系研究科都市工学専門課程 修士課程修了
同年	厚生省入省
1998年	世界保健機構（WHO）派遣
2001年	国連大学高等研究所客員研究員
2002年	アジア太平洋地球変動研究ネットワーク事務局長
2008年	国家公務員退職
2013年	東京都市大学大学院工学研究科博士後期課程 都市基盤工学専攻修了
現在	W & E 研究所 代表 特定非営利活動法人 日本水フォーラム参与 など